

コウノトリに関わるお知らせとおお願い

西小学校校区の地域の皆さんへ

H30年度西小6年生

西小に2年前人工巣塔がたちました。それから私達みんなが心待ちにしていた巣作りが2月12日から始まりました。「げんきくん」と「ポンスニ」が枝を運び始め私達はとても喜んでいきます。これまで私達は、この地域にたくさんのコウノトリが住んでくれるためには何をすれば良いか学習してきました。分かったことをお知らせすると共に、引き続きお願いしたいことがあります。

◎「よけじ」作りをして

今年度、5年生、6年生は地域の方々に協力してもらい、田んぼに「よけじ」を作りました。（よけじとは、田の中にある、生き物が住める水路のこと）

よけじがあると

コウノトリのえさとなる生き物が増え、大きく成長していくことが、生き物調査で分かりました。

1年中水があることで、生き物の住み家となり、多くの生き物が冬をこせて、春になると増えていくと思いました。



お願い①

★よけじを作、ていただく、と、コウノトリのえさが増え、更にコウノトリが増えると思います。ご協力よろしくお願いします。



◎ドジョウのDNA鑑定をして

西小学校の周りにはいるドジョウは、どんなドジョウなのかを知るために、ホシザキグリーン財団の林先生に遺伝子を調べてもらいました。その結果

調査した場所のドジョウは全て在来種でした。

全部で6種類見つか、り、そのうち5種類は、新種のDNAタイプでした。

雲南市は長い時間をかけて、環境のよい恵まれた地域になっていました。

これは地域の方々が外来種をもち込まず、在来種を守って下さったおかげです。

雲南市の人々が田や森の自然を守ってこられたことが分かりました。

お願い②

★今回の調査では、古来からの在来種のドジョウばかりでした。外来種を持ち込むと、在来種がいなくなり、生物の多様性がなくなってしまいます。外来種を持ち込まず、在来種の生き物を守ってほしいと思います。ご協力よろしくお願いします。また、在来種でも人の手による移動はしないで下さい。

西小学校校区の地域の皆さんへ (お願い)



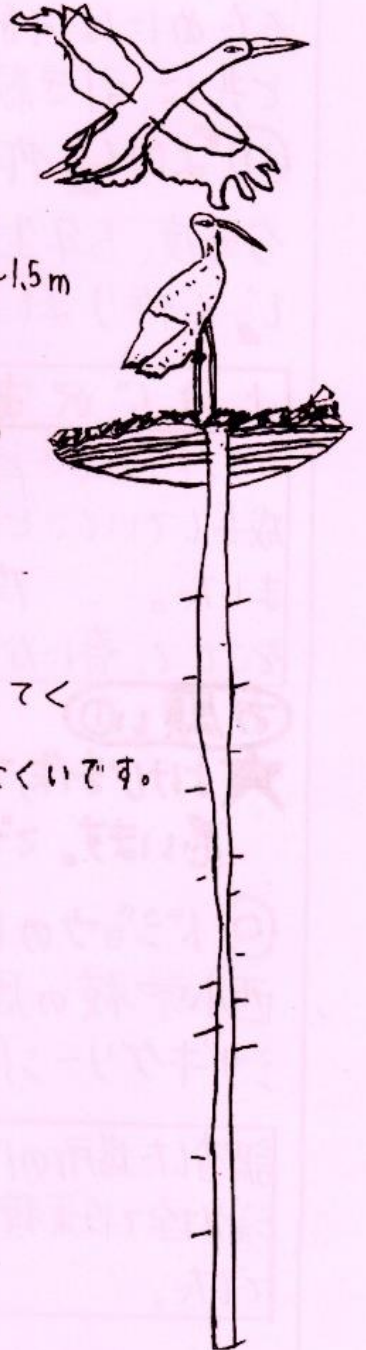
☆ 田んぼに水をためる

1つ目は、コウノトリが食べるえさをふやすために、冬の間田んぼに水をためてください。



☆ 巣の材料をおく

2つ目は、コウノトリの巣となる木の枝を、コウノトリが自分でとれそうな所においてください。長さが1~1.5mぐらいで太さが親指ぐらいがちょうどいいです。



☆ 農薬を減らす

3つ目は、田んぼでお米を作るときに農薬を減らしてください。農薬を減らせば、田んぼの生き物も増えるし、安全、安心なおいしいお米が作れます。



☆ 草かりをする

4つ目は、湿地やお休みしている田んぼの草かりをしてください。草は適度に残してください。

草が生えすぎると、コウノトリもえさを見つけにくいし、魚も泳ぎにくいです。



☆ 水を汚さない

5つ目は、水をよごさない生活を心がけてください。水がよごれると、コウノトリのエサとなる生き物が住みにくくなりエサが減ってしまいます。



☆ 静かな見守り

6つ目は、コウノトリを静かに見守ってください。寝ているところをじっと見たりカメラのフラッシュをかわさないでください。コウノトリがびっくりしてしまいます。



☆ ゴミのない地域に

7つ目は、ゴミを捨てないでください。見つけたら捨ててください。げんちゃんも人間が捨てたゴミを飲みこんでなくなっていました。

◎コウノトリも人も住みよい地域にしましょう。

ご協力 よろしくお願いします。